

伝言板

●博物館で鏡餅作り
日時12月15日(日)、10時~14時 内容きねでついたもちで鏡もちを作ります 対象小学生以上 定員15名
費用500円 持参品エプロン、タオル、皿、はし、ビニール袋 申し込み・問い合わせ12月5日(木)から電話で
博物館へ☎955-3804

●土曜日の午前中に
小学校のグラウンドを開放しています
完全学校週5日制に伴い、毎週土曜日の午前中に、小学校のグラウンドを地域の方々や家庭に開放しています。親子で体をたくさん動かして、心地よい汗を流しませんか。
問い合わせ学校教育課へ内線5652

防災一口メモ

●体験談「安心して暮らすこととは」
阪神・淡路大震災の経験から、日ごろの備えや近所づきあい大切だと感じた人が多いようです。
「物欲がなくなりました。長い人生の中で、あんなに恐ろしいことは、初めてでした。突然、恐怖にも足も動かないものです。いざというときのために、日ごろの用意の大切さを痛感しました。」
「それまで、近所づきあいの必要性を感じたことがなかったのですが、震災のときは近所の助け合い、声のかけ合いでお互いに力づけ合いました。また、住んでいる街に思い入れもなかったのですが、自分の住んでいる街でたくさんの死者が出て、気のない通りを歩いていますと、たくさんの人が住んでいてくれたからこそ、自分も安心して暮らしていたのだと気づきました。」
『阪神・淡路大震災 主婦115人の証言』サンケイリビング新聞社編/扶桑社より抜粋・要約
問い合わせ交通防災課へ内線3694

●消防本部からの報告

10月の火災件数5件(建物2件、車両1件、その他の火災2件) 救急出動件数411件 搬送人員392人

●人口と世帯 ※11月1日現在。()内は前月比

	住民基本台帳人口	外国人登録人口
男	81,880人(+44人)	783人(-4人)
女	78,640人(+42人)	955人(-4人)
合計	160,520人(+86人)	1,738人(-8人)
世帯	60,818世帯(+79世帯)	1,368世帯(±0世帯)

●住民基本台帳法に基づく年齢別人口

14歳以下	21,587人(13.45%)
15歳~64歳	116,838人(72.79%)
65歳以上	22,095人(13.76%)

12月の狭山ケーブルテレビ

☎0120-340-379 ☎956-5630
e-mail: ch9@staff.s-cat.ne.jp
http://www.s-cat.ne.jp

- みんな茶やま▶狭山市ホットインフォメーション(市役所からのお知らせ、字幕付)▶自治会の時間▶すこやか体操▶はーいお手紙です
- ちゃっぴいアワー▶ニュース▶サポートねっと(年末の大掃除、上赤坂の森、WAVE狭山商工会議所広報番組ほか)▶カレッジステーション(さやま大茶会、ふるさと散策、クリスマスコンサートほか)▶ティーブレイク(高戸善峯氏、戸口絵美氏、狭山ハンディ・スポーツ、山田明和氏ほか)▶がんばれ地域経営者▶特集(スズキトラスト、串焼小菜・炭小屋、AKIRA、クリスマス特集ほか)▶いろいろばたの昔ばなし「馬頭さまになった馬」
- ちゃっぴい撮影隊▶特集「武蔵野短期大学なでしこ祭」(3日~9日)▶小学校音楽祭(10日~16日)▶中学校音楽会(17日~23日)▶朗読研究狭山会(24日~29日)▶講演「二十世紀の狭山を振り返って」(30・31日)
- CUE SPORTS▶CUE SPORTS入門総集編(北山プロのレッスン)
- 野村の自由学校▶寝ても覚めても本の虫(俳優・児玉清氏)

「ちゃっぴい撮影隊」小学校と中学校の音楽祭は必見です。子どもたちの歌声と、一生懸命音楽祭に取り組む姿をお見逃しなく!

お・茶・香・る・ま・ち

SAYAMA CITY
さやま

- ◆狭山市広報・お知らせ版 VOL.377
- ◆発行日/平成14年11月25日(毎月10・25日発行)
- ◆発行/狭山市 ◆編集/狭山市総合政策部広報課
〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5
☎042-953-1111(内線7162) ☎042-954-6262
テレホンガイドさやま☎0120-460-380
ホームページ <http://www.city.sayama.saitama.jp/>

編集後記

最近の広報さやまをご覧になって「おや?」と思いませんか?実は10月10日号から一部の文字を大きくしています。以前から特集は他の頁よりもひと回り大きな文字を使っていましたが、さらに読みやすい広報紙を目指し、特集以外でも大きな文字を使い始めたのです。現在、暮らしの情報ページ以外の頁はほとんど大きな文字になりました。今後、紙面全体の文字を大きくする予定です。しかし、せっかく文字が大きくなっても情報量が減ってしまえば元も子もありません。盛り込む情報量を変えないよう、表現などを工夫しながら広報紙を作っていきます。これからも情報の正確さはもとより、読者の皆さんへの配慮と工夫を心がけ、多くの方に「狭山市の広報紙は便利で、読むとためになるし、明るい気持ちになれる情報がたくさん載っているね。」と言っていただけのような広報紙を作っていきたいと思います。㊟